

守備練習する八学光星ナイン 29日、八戸市



光星、気を引き締め 甲子園に向け練習再開

27日の全国高校野球選手権青森大会決勝で八工大一に競り勝ち、2年連続12回目の甲子園出場を決めた八学光星が29日、八戸市の同校グラウンドで全体練習を再開した。

ナインは午前8時半から約4時間半、守備や打撃練習に汗を流し、目標とする全国制覇に向け気合を入れ直した。

ウォーミングアップの後、シートノックや打撃練習、走り込みなど普段通りのメニューを行った。実戦形式のシートノックでは、守備の連係を重点的に確認。「今のいいぞ」「慌てるな」と仲井宗基監督に声をかけられながら、真剣な表情で取り組んでいた。

仲井監督は練習後の取材に「県大会が終わり、ほっとしたい気持ちがあると思うが、甲子園に向け気を引き締め直す」と述べ、中澤恒貴主将は「もう一度バッティングや守備を見直し、全国制覇を目指したい」と話した。ナインは8月1日に八戸市を出発し、大阪府の宿舎へ向かう予定。

（棟方好華）